

嘉麻市社協だより

えがお

No. 91

発行日/ 2013.9.1

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com



たくさんのボランティアが活躍
～島根県津和野町～

山口・島根豪雨災害支援

7月28日(日)の早朝から昼ごろにかけて、山口・島根両県はゲリラ豪雨に見舞われました。山口県萩市(須佐地区)、山口市(阿東地区)、島根県津和野町(名賀地区)は記録的な雨量によって、川の氾濫や土砂崩れが発生し、広範囲で住宅の倒壊、床上・床下浸水などの被害が出ました。



この被害情報を知り、何とかしたいという思いで、8月2日(金)、本会の職員4人は山口市阿東地区災害ボランティアセンターに向かい、前日の大雨により、ボランティアの受け入れが中止となっていました。そこで、本市から持ってきたタオルと毛布をお渡ししました。

その後、ボランティアを受け入れているとの情報があり、島根県津和野町へ向かいました。津和野町では、弥栄神社境内にて他のボランティアの方々と協力し、土砂を掻き出し土嚢袋に詰め、撤去する作業を行いました。ボランティアの中には、他県から来られた学生や留学生の姿もありました。別の目的で来られたにもかかわらず、目の前の困っている人を助けたいという思いから急遽予定を変更し、活動されているとのことでした。本当に困った時、力になるのは人が人を思いやる気持ちなのだと思えました。

活動を終え嘉麻市に帰る途中の



阿東地区徳佐下において、堤防の決壊により、なぎ倒されたリンゴの木、半壊した家屋、遮断された線路など壊滅状態となった現場を目にしました。どれも豪雨の凄まじさを物語っており、自然の驚異を感じました。

今回はボランティアとして被災地に行き活動しましたが、私たちの暮らす嘉麻市も遠賀川沿いに位置しており、水害が発生する可能性は大いにあります。そのため本会としても、情報収集に努め、災害ボランティアセンターを設置するための手順・準備などを見直し、いざという時に備えていきたいと思います。

楽しい夏の思い出

7月27日(土)17時から、日中一時支援事業の夏の交流会を山田ふれあいハウスで開催しました。参加したのは、現在、事業を利用している子ども達のほか、以前利用されていた方々、ボランティアなど35名です。



みんなで楽しい食事の時間

交流会は全員の自己紹介から始まり、朗読ボランティア福寿草の大型絵本の読み聞かせ、ダンスタイムに食事、すいか割りゲームなど盛りだくさんの内容で、それぞれの場面でみなさんの笑顔が溢れ、会場は大変賑わいました。

学校を卒業後、今は作業所に通われているAさんや保護者の方々からは、「久しぶりにみんなに会えて嬉しい」といった声が聞かれました。また、普段は一緒に過ごさない子ども達同士の交流や、保護者の方々の親睦も深めることができ、有意義な夏のひと時となりました。



手作り楽器でも盛り上がったダンスタイム

希望し 努力し 感謝して 生きる ～瑞宝太鼓の取り組み～

長崎県雲仙市にある社会福祉法人南高愛隣会は、障がいがある方が地域で自立して生きていくことをサポートするために、6つのサービス（日中支援・生活支援・相談支援・居宅支援・医療支援・罪を犯した障がい者、高齢者への支援）を実施しています。日中支援のひとつである就労継続支援 A 型事業のなかに、「瑞宝太鼓」という活動があります。この活動は、1987 年に知的障がい者の余暇サークルとして発足し、太鼓が大好きな人たちが楽しみながら練習と演奏活動を続けていましたが、「プロになりたい」とたくさんのクラブ会員から声があがり、2001 年に4名の団員でプロとしての「勤労障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓」がスタートしました。年間約 130 回の公演活動をしていて、海外でも活躍されています。国内では、少年院での公演にも力を入れています。みなさんの演奏は、何より生き生きとした笑顔がとても印象深く、聴く人の心に響きます。

今回の Voice では、瑞宝太鼓団長の岩本友広さん、この活動をスタッフとして支える南高愛隣会北九州事務所の後藤綾子さんに活動内容やその思いを伺いました。

聞かせて・教えて
あなたの思い

ヴォイス
Voice

No.20

平成23年5月15日



長崎市公会堂での10周年感謝祭

◆ 団長 岩本 友広 さん ◆



Q. 瑞宝太鼓の魅力、アピールポイントを教えてください。

A. 何より、みんな太鼓が大好きなところかなあ。太鼓を打つてると笑顔になるけん。一人ひとり意見がちがうこともあるけど、チームワークを大切にみんなで仲良くやっています。それから、お客様とコミュニケーションをしながら楽しむことも、魅力です。

Q. どんな気持ちで演奏していますか。

A. お客様は楽しんでくれているかなということがいつも気になります。手拍子をしてもらうとぼくたちもすごい楽しくなります。

Q. これからの夢を教えてください。

A. 全国制覇をすることが目標です。行ったことがない県があると4県あるから、その県の人たちにばくたちの演奏を見てもらえるのを楽しみに、練習がんばっています。全国のみなさんにばくたちのことを知ってもらうのが一番の夢です。

◆ スタッフ 後藤 綾子 さん ◆



Q. 瑞宝太鼓の活動をおして伝えたいことは何ですか。

A. 「大好きなこと」に出会いますよ、ということですね。瑞宝メンバーは皆いじめられた少年期を過ごしているため自分に自信を持ってないでいました。でも、大好きな和太鼓と出会ってがんばって練習をしているうちに自分に自信がつき、これを職業とし、そして今、顔を上げて輝いて生きています。大好きなこととの出会いは、夢が生まれること、人生を楽しむこと、自分への励まし、自分を見失わない力、となるでしょう。これはまさに実践している彼らから教えてもらったことです。



Q. メンバーのみなさんを支えるスタッフとして、どのようなことに力を入れていますか。

A. 彼らが多くの人たちと出会う機会をたくさん作っていくことです。瑞宝太鼓は少年院で演奏をすることも多いのですが、罪を犯し人を傷つけてきた少年たちは、演奏を見た後の感想文で「これまで障がい者をいじめてきたけど、そんなことをしていた自分が情けない」と自分を見つめ直してくれます。「障がい者も健康者もない、人間はみな平等なんだ」と気づいてくれます。また、東北の被災地で演奏をした時には、身内を亡くされた方が「生きていく力が湧いてきたよ」と涙を流して喜んでくださいました。もっともっと、彼らの演奏を必要としている方々に会いにくために、演奏する機会を探しています。



一打に想いを込めて…

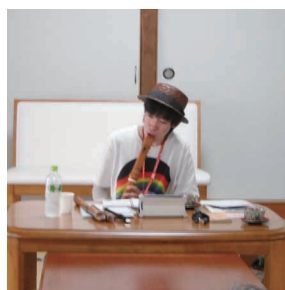
リコーダーの音色が心を包む

7月25日(木)、寄つてこハウス(稲築地区添生)で、ひきこもり家族を持つ方を対象に勉強会を開催しました。

講師の笛田千裕ふえたちひろさんは、リコーダー演奏とともに、不登校やひきこもりの経験を語り、命の大切さを伝える活動をしておられます。以前にも講師として来ていただいたことがあり、2年ぶりの再会となりました。

笛田さんは、過去を振り返り、学校に行けなくなるほどのいじめやひきこもっている時の心の葛藤を話される中で、お母様に命の大切さを教えてもらったこと、家族の温かい見守りに助けられたことを強調されました。

さらに、現在に至っても、完全に立ち直ったわけではなく、日々悩みながらゆつくりと前に進むことで、同じように一歩踏み出そうと頑張っている方を応



▲リコーダーのやさしい音楽に心が癒されます

援したいこの思いも話され、その明るく、ひたおきな姿に参加者のみなさんは、目をつるませておられました。合間に演奏されたリコーダーの音色は、みなさんの心に深く染み入ったようで、会場は終始優しい雰囲気になりました。

その後の座談会では、笛田さんのお母様から、本人と一生懸命向き合ってきたこと、気持ちが理解できず苦しんだこと、外に出るきっかけを何とか探すようになったことなどの気持ちを伺い、参加者のみなさんは、大きく頷かれていました。

勉強会終了後、参加者のみなさんからは、「子どもと一緒に参加したかったです」「子どもと向き合う元気をもらいました」との声も聞かれ、少し笑顔も見られました。

現在、毎月第4木曜日に寄つてこハウスで家族の集いを開催し、お互いの悩みを話したり、情報交換をしたりしています。次回の集いは、9月26日(木)13時からとなっていますので、悩みを抱えている方は、一度見学に来られてください。

住民の声が聞こえる距離までアプローチ

7月26日(金)、春日市クローバープラザで開催された、新任職員・若手職員向けの「社協の仕事の基本から考える研修会」に、事例報告者として本会職員の木原が参加しました。

午前中は、講師の久留米大学文学部客員教授 松尾誠治郎氏から、「これまでの社協の歴史や役割について」「コミュニティワークへの展開とアウトリーチの必要性について」の講演があり、個別課題に向き合うことの大切さや社協職員としてどのようにその解決

に向けた展開をしていくのかについて理解を深めました。午後は、古賀市社協の事例報告の後に、嘉麻市社協から「住民の声が聞こえる距離までアプローチ」と題して、嘉麻市のみなさまからの声でおしゃべりサロンや子育て情報紙づくりが始まったこと、同じ悩みを抱えた方たちが集うことで解決できることがあることなどを話しました。

その後のグループワークの中で、上毛町社協の方から、関わりを拒んでいたAさんと少しずつ信頼関係を築いていき、困りごとを解決したという話を聞くことができ、時間がかかっても相手の気持ちや



思いに寄りそうことの大切さを改めて感じました。事例報告者として参加できたおかげで、日々の業務や本会の事業を改めて見直すことができただけでなく、他の社協の活動からもたくさんのごとを学んだ研修会となりました。

支援物資を届けました

7月26日(金)、市民の皆様からお寄せいただいたホームレス支援物資(長袖シャツ・Tシャツ・肌着・靴下・T字かみそりなど計63点をNPO法人北九州ホームレス支援機構に届けました。

この支援物資は、北九州市勝山公園で、隔週金曜日に行われている炊き出しの際にホームレスの方々に配られるとのこと、職員の川内雅代さんから「嘉麻市のみなさんには、いつもご協力をいた

だいて、ほんとうにありがとうございます。」と言葉をかけてもらいました。

その後、川内さんから現状について話を伺うと、ホームレスの方は減少してきているそうですが、中には野宿をしていた場所を追い出され、安全に過ごせる場所を求めて市内を転々としている方や、山の中で人との接触を避けている方もおられるとのことでした。そうした方たち一人ひとりに支援物資や弁当を手渡しながらかかわりを進めていて、

川内さんは、「自分たちが関わりを持つことで、その人にとって、何か変わるかもしれないし、何も変わらないかもしれませんがそれでも私たちはこれからもずっと関わり続けていきます。」と強い思いを語られました。

本会では、今年も越冬支援物資を募集する予定ですので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。今回、物資をお寄せいただきました皆様、ありがとうございました。

今月のえがお

最近えがおに
なった出来事を
教えてください！



☆最近えがおになった出来事について、
4名の方にインタビューしました☆



りいな
中山 莉衣奈さん

夏休みに、学校行事で5年生全員でキャンプに行きました。夜は、キャンプファイヤーやハンカチ落としゲームをして、すごく楽しかったです!!

残りの夏休みで、海に遊びに行けたらいいな～☆☆



オレーシャさん オレグさん
ウラジックくん

最近、ロシアに住んでいる友達が家に遊びに来ました。一緒にハウステンボスへ行き、すごく楽しくて朝から夜まで笑顔がたえませんでした。

心に残る素敵な思い出ができて、大満足です!!



碓井千歳会館でフリマを楽しみませんか

10月13日(日)に、碓井千歳会館の駐車場で6回目となるフリーマーケットを開催します。今回も、日用雑貨、衣類、食器、小物類などを販売するお店が出ます。きっと掘り出し物も見つかると思いますので、ぜひご来場ください。

なお、お車でお越しの方は、うすいの里及び碓井人權啓発センターあかつきの駐車場をご利用下さい。

日 時 10月13日(日) 10時～14時

会 場 碓井千歳会館駐車場
(嘉麻市下臼井 1050-19)

※雨天の際は館内で実施します。



お問い合わせ先

碓井千歳会館 ☎0948-62-3538

リニューアルかまっぴをぜひご覧ください

8月30日(金)、子育て情報紙「こども目線♡かまっぴ♡～秋号～ No.15」を発行しました。



子どもと楽しめる市内のスポット等を出し合い、記事の内容を決めました。

今号は、8月2日、9日、16日、23日に講座形式での編集会議を行いました。より多くの子育て中の方などに読んでいただける情報紙にするため、かまっぴを見つめなおそうと、講師のNPO法人子育て市民サポート Willの木ノ原元美さんから、大切なポイント等を学びました。今子育てをしている方たちが、オススメしたいこと、伝えたいことを大切に編集しているほか、読みやすいように用紙サイズも変わっていて、これまでとはひと味違ったものとなっています。市内の子育て支援センターや図書館、碓井千歳会館、山田ふれあいハウス等に置いてありますので、ぜひ読んでみてください。



「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

?? 問 題 ??

日中一時支援事業の夏の交流会で、絵本の読み聞かせ等をしたボランティアグループはどこでしょうか。

(1) 読み聞かせボランティアひまわり

(2) お話の会こすもす

(3) 朗読ボランティア福寿草

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、9月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

● 送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1-143番地3
嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: itk@kama.syakyo.com

● 前号のクイズの答え (2)

市民後見人になるには、養成講座を受講する必要があります。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・カラーが沢山で、とても見やすい広報紙だと思えます。
・とても役立つ情報でした。引き続き発行してくださいね。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



ボランティア

市民活動センター情報

ボランティア入門講座開催

7月30、31日の2日間、ボランティアの基本を学ぶ入門講座を開催し、10名の方が参加しました。

1日目は、木山事務局長が「ボランティアとは」というテーマで、ボランティアの活動原則や様々な分野での活動、災害ボランティア等の話をしました。「ボランティアとは、活動することが目的ではなく、自分の『思い』を相手に伝える手段としての活動だということを意識してほしい」ということ強調し、参加されたみなさんは、話を真剣に聞いていました。

その後は、車いすの構造や操作方法を確認し、2つのグループに分かれて、西鉄バス亭「稲築支所」から嘉穂方面と飯塚方面に向かって、実際にバスに乗るという体験をしました。車いすに乗ることによって風景が違って見えたり、様々なバリアがあることに気づくことができました。また、そのバリアがなくなることは、誰にとっても住みやすいまちになることもわかりました。

2日目の午前中は、2つのグループに分かれ、施設でのボランティア体験をしました。Aグループは、障害者支援施設 三愛園で、利用者の方と話をしながら車いすを拭いたり、Bグループは、障がい者支援施設 清浄学園で、段ボールの組み立てや車の部品の製作などを利用者の方と一緒にするなど、貴重な経験をさせてもらいました。

午後からは、2日間の振り返りをしました。参加者の方からは、「相手を思いやる心が大切だとわかった」「いろいろなボランティアに参加したいと思った」など、今後の活動につながる感想が聞かれました。

なお、今回の講座には、嘉麻市立嘉穂総合高校大隈城山校のボランティア部の1年生が参加しており、みなさん、何かを学ぼうと一生懸命でした。今後のボランティア部の活躍については、またこの広報紙でお伝えしたいと思います。



＊ボランティア＊イベント 募集情報＊

みねまいまつりのお手伝い ～ライフステイなつき～

日 時 平成 25 年10 月12 日(土)
10 時～15 時

場 所 介護付有料老人ホーム
ライフステイなつき
(嘉麻市鴨生 94 番地19)

活動内容 出店の手伝い、入居者の見
守り、ゴミの片づけなど

募集人数 10 名程度

募集締切 9 月27 日(金)

備 考 当日は動きやすい服装
をお願いします。食事
は施設側で準備します。

フリーマーケットのお手伝い ～碓井千歳会館～

日 時 10月12日(土) 9時～11時まで
10月13日(日) 8時～15時まで
※都合の良い時間帯で構いません。

場 所 碓井千歳会館
(嘉麻市下白井1050 番地19)

活動内容 12日…会場準備、テント張り
13日…駐車場への誘導、テ
ント片付け等

募集人数 5 名

募集締切 10 月4 日(金)

備 考 当日は動きやすい服装でお
願いします。
13 日は昼食・飲み物をご持
参ください。
なお、雨天の場合は、館内
で実施します。

手作りの竹灯籠とキャンドルアート ～嘉麻市一夜城まつり～

一夜城まつりで、嘉穂総合高校大隈城山校の
生徒全員で手作りした竹灯籠と千本のろうそく
で描いたキャンドルアートが展示されます。国
道からメイン会場にかけて設置され、温かく優
しい灯りで皆様をお迎えしますので、ぜひご来
場ください。

日 時 : 10 月19 日(土) 10 時～
(キャンドルア ート点灯 18 時～)
10 月20 日(日) 12 時～

会 場 : 嘉麻市中益地区 特設会場(嘉麻市中益 36 番地)

※ 20 日は、メイン会場において城山校の生徒全員
で1 年間をかけて集めたリングブルとエコキャップ、
また文化祭でのバザー収益金(山口・島根豪雨災害、
東日本大震災被災地義援金として)を贈呈するセレ
モニーも行われます。

※活動に際しては、事前登録、ボランティア活動保険への加入が必要です。

お問い合わせ・お申し込み先：かまボランティア・市民活動センター ☎ 0948-42-0751

今日の冊



俺はこわれちゃったんだよ

五行歌と文章で綴る在宅介護日記



著者／河田日出子
出版社／市井社

この本との出会いー

私は、在宅介護者の集いなどを通じて、認知症のある方とそのご家族と関わってききましたが、もっと在宅介護の現実や介護者の思いを知りたいと思っていました。その時に、職場で目にした福祉新聞の中で、この本の紹介記事を読み、早速購入しました。

内容はー

この本は、著者である河田日出子さんのご主人がアルツハイマー型認知症を発症してから、自宅で亡くなるまでの8年間の介護日記で、日々の出来事が200首を超える五行歌とともに綴られています。

その中には「夫の病気で心が千切られるような日々介護する私だって安定剤に頼る病人」「夫ともみあっているパチン!と一発ほんとうになぐりたくなる」など、日出子さんの不安や戸惑い、淋しさ、葛藤が伝わってくる歌がたくさんあります。

また、「死に臨んだ時この世で一番の達成感」は夫の介護であったと思いたい「など、ご主人を想う強い気持ちや夫婦の絆の深さのようなものを感じるものもあります。

このような歌の一つひとつには、その時々介護者（日出子さん）のストレートな思い、感情が込められており、介護者でなければわからないと思います。

この本を読んでいく中で「介護」は、「大変」「つらい」といった単純なものではなく、様々な感情を抱きながら介護をされているということにあらためて気づかされました。私はその時々介護者の気持ちに寄り添おうとする姿勢を持ち続けたいと強く思いました。

この本は、在宅介護をされている方にとって、共感できる部分がたくさんあると思います。ぜひ読んでいただきたいと思う1冊でした。

(竹川)

10月の総合相談

法律相談は予約が必要です。
先着順となっていますので、
お早めにお申し込みください。

法律相談

と き：10月3日（木）
13:00～16:00
ところ：山田ふれあいハウス

と き：10月17日（木）
13:00～16:00
ところ：稲築住民センター

心配ごと相談

と き：10月9日（水）
13:00～15:00
ところ：稲築住民センター

と き：10月23日（水）
13:00～15:00
ところ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751

炭鉱の記憶



No.78

三井山野炭鉱で機械に関するお仕事をされていた石田利夫さんから、当時の写真を見せていただきながら、お話を伺いました。機械に関する仕事といっても、電気機器の据付けや撤去、補修、各機械の保守管理、運転など様々であったそうです。

写真左は人車といって坑内に坑夫を運ぶための機械です。三井山野炭鉱で使用していた人車は、8両編成で140人を一気に坑内へと運ぶことができました。人の命を運ぶものだからこそ、故障しないように頻繁に点検しなければならなかったと言います。



▲坑内まで人を運ぶ人車



▲坑外での機械の整備

写真右下は坑外で機械の整備をしているところです。当時は、ひとつの機械がすべての作業に直結していて、人車や炭車が故障して停止すると、人や石炭の運搬ができず、積み込みや採掘などの作業もストップしてしまっていたそうです。

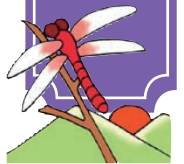
機械工として仕事をするためには、鉱山保安技術職員の電気・機械分野の資格が必要でした。5年程度の実務補助の経験と、難しい専門知識を問う試験を突破することで取得できたそうです。機械工の仕事は、命がけで採炭や運搬を行う方々を支えることなので、難しい試験が課せられていたと言います。

また石田さんは、小さなミスが人の命にかかわる事故になったり、作業全体に影響したりするため、毎日の管理を慎重に行っていたと言われ、機械工として仕事に対する自負を感じました。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。
嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

TEL 0948 (42) 0751

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

7月1日～7月31日受付分

【漆生中央】

親族 森 浩 子 様

【東馬見】

親族 大 塚 喜 文 様

【山野第一】

親族 安 藤 スミ江 様

【鴨生町】

親族 大 塚 嘉 生 様

【銭代坊】

親族 長 谷 部 玉 男 様

【飯田】

親族 上 野 ヨシ子 様

【下臼井西】

親族 坂 本 一 正 様

【西郷】

親族 田 中 龍 治 様

【西川】

親族 吉 田 博 満 様

【三菱第二】

親族 田 中 美 智 代 様

【三菱第一】

親族 手 島 辰 夫 様

【中山山下】

親族 山 辺 正 生 様

【上西郷】

親族 有 田 義 一 様

【上牛隈】

親族 大 谷 キミエ 様

【千手】

親族 山 本 信 行 様

【大力】

親族 内 田 直 人 様

【宮吉】

親族 江 藤 芳 雄 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同

【子育てリユース】

漆生南部 佐々木麻衣子 様

【子育てリユース】

漆生老松 増田さと子 様

【石ヶ崎】

鴨生北町 大梅 美佳 様

【下牛隈】

森田 雅代 様

【飯塚市】

岡本 千郷 様

【アルミ缶】

漆生本村 市原登志彦 様

漆生南部 西岡 聖 様

西岩崎 花村 誠市 様

鴨生第一 伊藤喜代益 様

熊本 中島 政美 様

下臼井東 松田 敏雄 様

六四田 三好 邦央 様

木城 吉田 広人 様

中央 明石 睦則 様

立石 矢野 千恵 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

匿名 漆生西小学校6年2組

匿名 ボランティア係

匿名 漆生中央

匿名 口春

匿名 山野第二

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第二

匿名 下臼井東

匿名 尾浦第一

匿名 下宮

匿名 筑紫

匿名 筑紫

匿名 中央

【古切手】

鴨生第一 伊藤喜代益 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

嘉麻市人権・同対策課 様

おかむら葬祭 岡村会館 様

平和舗道(株) 様

グラントドベルズ飯塚 様

教育ナビゲーション 様

鴨生第一 伊藤喜代益 様

匿名 使用済テレカ

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

匿名 鴨生第一

あなたの会費が、社協の地域
活動を支えています



7月1日～7月31日受付分

(敬称を省略させていただきます)

《漆生本村》漆生本村行政区(三十九口)

《稲築才田》茶屋芳輝、山本公一、井

上国光、森川ふくえ、藤内辰美、松尾

ヤスミ、柳田シズ、松尾洋子、江川ハ

ツミ、西野文子、富崎静江、今宮優介、

松尾博昭、松尾久士、片丘末喜、兵道

和世、茅野廉平、白石ツタエ、曾我部

美枝子、桑野英俊、大津テル子、長沼

ヒナ子、高鍋厚、野見山清隆、東小野智

福田卓也、吉浦孝二、長町カメ子、大

山博之、浅田スミ子、向井愛子、奥迫

フジ子、奥迫文男、木下国光、大木貞男、

大木政敏、大木徳雄、大山喜秀、野崎

静子、大山邦夫、山本虎彦、谷口重次

《西岩崎》松隈写真館(三二口)、永野和

洋子、松熊律子、江野ミヤ子、中野茂、

大場勝、佐藤文男、清家清江、山倉依子、

長岡力ズ子、松隈桜子、高嶋清香、西

野久威、池田保夫、村川直、西野千恵、

金丸浩、上岡智美、田子森スミ子、高

原静男、河津英春、野口涼子、高橋修

《口春》岡田澄子

《山野第一》辻田光之、石川武士、森

山博、江藤ヤフ子、立藤カズ子、森山

清志、谷口満、辻田篤志、永富健二、

坂口ユリ子、赤坂秀一、近永俊彦、赤

坂タケ子、水間寛、中並幸子、畠中次郎、

岩田富美子、辻田信子、山内龍二、小

池義元、荒木敏子、里村百合子、野見

山恒夫、藤井治昭、緒方輝躬、柴田ス

ミエ、萩野久太、熊谷萌、朝倉吉明、

熊谷香壽美、安藤スミエ、山本幸俊、

赤坂友邦、辻田邦彦、柴田英生、辻田

正治、鳥井実、辻田茂、田村強、藤原

哲資、松岡ミチコ、田原ミヨ、平井義久、

平山伊保江、白川誠、渋谷茂、森原正博、

西田修、松岡伝、田中日本明、有田栄公、

山本千鶴、福澤秀久、北富敬三、福澤

清隆、福光一男、大塚嘉生、水間卯八、

高松富夫、本田貢、石井直彦、平野嘉代、

宇野小百合、藤春トモ子、國米スエ子、大井盛政、大井慎二、市村祐子、山本多喜夫、牧節子、永水悟、赤間陽一、中山一代、26組（三口）、木下竹子、村尾正人、迎田進、東弘子、熊井昭子、中山惇、櫛野栄次、鬼塚勝成、東精一、永水憲一、松宮安博、水脇さつき、尾造千鶴子、林修次、足立文昭、赤坂好紀、井上純一、山本修、末永剛、西堀サチ子、吉田晃、辻田初代、宮崎省吾、山田和隆、有長栄治、瀬尾とも子、平山一、麻生昌彦、金丸賢二、渋谷作太郎、片岡晋、慶田徳生、佐田スエ子、三好邦彦、坂田直樹、野見山勇雄、木下幸治、金堀隆、樋口誠、青野廣太、坂口栄喜、林雅幸、吉田裕二、境茂俊、坂田恵太、永田紀美代、永富三千子、平野美智子、吉田徹、片峰伸二、松岡央、半田信博、井上美穂、鈴木哲男

〔鴨生町〕栗林彩美、春山美鳥

〔平第二〕眞杉チツル、平祥司、松下正良、西田仁、西田恒義、大山忠男、白土恵一、梶原輝雄、西田久利、永水計親、小林英治、永水博、山下かすみ、山下照輝、山下さなえ、吉原幸雄、山下武利、山下峯生、中島孝博、宇根岡マスキ、田中道子、林繁樹、清家幸夫、横山秀雄、大久保久子、西田初、西田俊夫、藤崎正昭、西田穂次、野見山輝昭、林トシ子、小峠フサエ、永水成一、中野君子、阿部敏子、篠森鹿夫、西田義勝、西田寛信、永水正博、永水雅史、永水幸子、藤原光一、永水美法、永水民生、西田家理、西田武次、佐原ノリ、佐伯純子、松本政喜、藤内俊夫、加来公生、加藤正子、吉田文子、吉村浩子、永水秀樹、浅田修一、松隈慶造、佐藤明子、西田公一郎、田口正志、永水寺徳、松本俊治、坂本浩之、大和義一、森山肇、西田四郎、西田剛、大山松雄、西田明、白土良一、永水泰典、野田工三子、山下孝一、永水政子、高田久志、松本明美、馬田忠義、深見隆伸、森山祥弘、佐竹吉實、越智初、野村京子、西田健、平井むつ子、(有)岡村葬祭

〔平第二〕荒木勝英、花田匡哉、地藏原満隆、駒山登志子、富山澄等、辛島貴嗣、西野はつ江、松熊タケ子、野川勝博、日田キヌ子、松岡俊秀、井下雄次、尾畑政雄、松本信子、西村富士子、大園節子、山室伸次、野口明美、金国大介、手柴敏幸、伊藤英恵、嶋田浩二、三宅末子、宮崎紀久子、田村テル子、篠崎幸子、田中正孝、陶山茂、大庭勝三郎、中村朋子、砂浪喜信、竹川富士松、加地タクシ、松隈勇夫、岸昌幸、松本芳明、宮内佐恵子、草場ミチ子、平田品子、坂田公一、西田安之助、西田雅範、坂田清子、手島ミヤノ、岩崎哲夫、山平由美、西田義明、大山征男、山本康治、西村光昭、竹村恵美子、清川栄、大利宗嗣、東川文子、西田昇、武田憲児、西坂勝正、岩橋トシ子、生田キミ子、今村トシ子、加来良子、伊藤鉄子、梅本重信、渡辺富美子、桐原理枝、山崎ぬい子、村岡隆志、佐藤一美、松本三枝子、大友友就、佐藤典子、沖年幸、大城淑子、橋本隆、倉智康治、山口末美

〔枝坂〕古賀義之（五口）

〔笹原〕岡村聡平

〔熊ヶ畑第一〕眞子剛幸

〔熊ヶ畑第二〕荒木美千代、篠崎悟志、伊藤千輝、大里弘子、大塚由美子、金崎秀敏、金崎泰、平嶋洋和、広瀬澄子、広瀬ヤスエ、広瀬須代子

〔熊ヶ畑第三〕石橋広蔵、石橋裕子、上野富美子、大里九州男、平嶋誠一、広瀬正治、山田芳博、広瀬美雪

〔百々谷〕稲富静代、尾木八重子、渋谷香、長谷川はるみ、太田シズ子、川上アイ子、阿部久代、石井春美、吉村英雄、福井政子、高見敬次

〔尾浦第二〕下川明世、豊義満（三口）、西豊子、大重昇、坂井幸智子、三浦和子、前田澄子

〔天神〕赤木松夫、木下俊明、島田睦男、島田久子、江藤富美子、城丸正治、島居香代子、中野達男、野見山喜代子、松岡一彦、松岡由美、松岡梅香、米沢八重子、井上智子、井上誠、城丸貴久枝

〔木城〕有山和子、江藤ヒサエ、竹中ミツ子、永富久子、石原口節子、田辺スミエ、大塚昭次、松岡孝司、梶原七キ子、長与秀夫、美林孝勝、山田昌郎、井上達雄、藤井逸志、岡本國夫、宮本秀喜、和田照代、山本賀世子、藤嶋泰仁、日高文雄、林田正敏、中野勝哉、中川尋章、小島律子、岸川太美峰、大里景子

〔中央〕山口由一郎、山本トミ子、大里勝美、須崎醇二、坂本玉子、佐伯久美子、松岡孝、明石睦則

〔蛭子〕児玉孝子、佐々木義夫、堀口征一郎、佐藤武則、溝口寿

〔立石〕松隈信一、和田守之、山本シズエ、有江雅枝、永松貞之、松岡伸、坂田喜三郎、松岡幸代、坂口光夫、有江伸一、鹿毛幸一郎、川原歌子、堂鼻邦夫、合代敦子、合代さゆり、松岡健治郎、有吉三郎、府川豊、新田芳子、江崎義人、坂田俊昭、松本志都、大塚正近、山口松枝、矢野久紀

〔山下〕藤吉真智子

〔石ヶ崎〕仲道輝子、江藤友喜、古賀道人、岩田順一、山田信之

〔大隈〕平田健太

〔上牛隈〕小野智二

〔下牛隈〕田中忠男、田中三根子、堀之内周平、元春加代子

〔在宅介護者の集い〕中村妙子、松岡美知子、豊田敏雄、宮本ユキノ、松岡久邇子、飯田篤子、國武美千代

指定葬祭場紹介

飛鳥会館 南斎場

嘉麻市漆生 298-1
☎(0120) 42-2241

山本さん 縄田さん 新居さん

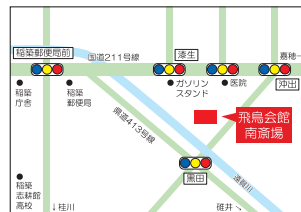


松尾さん 井上さん

飛鳥会館でご葬儀をされるご家族のうち、8割の方が事前相談に来館されています。葬儀に関する疑問、予算等気兼ねなくお尋ねください。家族葬にあわせおプランもご用意し、スタッフが心を込めてお手伝いいたします。

また、当会館のお斎には、パドドゥ・ル・コトブキの本格料理をご用意しております。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館 南斎場を含め、市内に8カ所あります。

きど葬祭やまさ碓井斎場・・・☎62-4499
いすや会館・・・☎57-4444
かほ葬祭 あじさい会館・・・☎62-5566
おかむら葬祭 岡村会館・・・☎42-4420

ひさつね会館・・・☎52-0758
セレモニーホールおおつか・・・☎52-1212
善光会館 稲築会場・・・☎83-5000

私の原点

私は山田市で生まれ、小学校も自宅近くにあった大橋小学校に入學しました。3年後、上山田小学校と統廃合したので4年生からは上山田小学校に通いました。その後中学、高校を卒業して大阪の調理師学校に通うため故郷を離れ、調理師学校卒業後は故郷には戻らず下関で就職し、15年が経ちました。

故郷を離れて15回目の夏がきました。毎年夏が来ると故郷の懐かしい風景が思い出されます。

夏休みが始まる日に兄弟と一緒にお神輿を担いだ事や、市民センタ―に山笠を見に行った事、お盆にあった花火大会の花火が綺麗だった事、友人達と自転車で英彦山や小石原の川に遊びに行った事など、色々と楽しかったことを思い出します。

下関で就職してからは、色々な人との出会いや別れ、楽しいこと、辛いこともあったことがありました。が、「いつかは故郷に帰って自分のお店を開く」という夢の元に頑張ってきました。その中で妻と出



山口県下関市在住
小山田 賢治さん
(33歳)
上山田出身

会い、二人の子どもも生まれ、山口県内のお店を渡り歩き経験を積んでいた。そんな折に自分の店を開業できる機会が巡ってきました。減多にないチャンスだとは思いましたが、今ここで店を開くということは「いつかは故郷に帰って自分の店を」という長年の夢が叶わなくなってしまうと思い悩みま

した。ですが、これまで下関で培ってきた人脈や経験を生かし、開業を決意しました。

開店して3か月、一人での責任感と初めての事だらけで毎日が慌ただしく過ぎ去り、故郷を思い出すことも少なくなりました。

そんなある日、懐かしい友人が下関の私の店に料理を食べに来てくれたのです。変わらない友人の笑顔と故郷の方言を聞き、とても温かく優しい気持ちになりました。これから先も、毎日があわたたしく過ぎていくのかもしれない。が故郷の自然と人の温かさを私のお店にも生かしていきたいと思

★ 編集後記 ★



6ページのボランティア入門講座では、真剣に取り組む嘉穂総合高校大隈山校ボランティア部のみなさんの熱いハートを感じました。若い彼らに負けないように、と張り切って津和野町で土砂の片づけをしましたが、へとへとでした。やはり年にはかないませんね(笑)被災地の一日も早い復興を心からお祈りします。(きはら)



7月24日に宗像ユリックスで開催された宗像市人権映画上映会で、3ページに紹介している「瑞宝太鼓」の活動を取りあげたドキュメンタリー映画と、実際の太鼓演奏を聴くことができました。映画では、メンバーのみなさん一人ひとりのストーリーを知ることができ、その後に聴く生演奏には本当に感動して胸を打たれました。(みぞくち)



北九州ホームレス支援機構に物資を届けた時に、10年以上誰とも関わることなく野宿をされていた方と事務所でお会いしました。この男性は、支援機構のサポートを受けて、現在は、自分でアパートを借りて働かれています。また、支援機構の行事の手伝いにも積極的に参加されているそうで、「誰かの役に立っていることがうれしい」と照れながらの言葉に、こちらもうれしくなりました。(たけがわ)



津和野町から福岡に戻る際、なぎ倒されたリンゴの木々を見つけました。山口市阿東徳佐地区はリンゴの産地だそうです。堤防が決壊しなければ、冬にはその木々にも大きな赤い実がなっていたのだと思うと胸が詰まりました。自然災害の恐ろしさを改めて感じました。(かわかみ)



外国の方が嘉麻市内を歩いていたので、「日本語わかるかなあ…」と思いつつ、話しかけてみました。なかなか伝わらない言葉もあったけど、とても楽しそうに話を聞かせてくれました★5ページにある『今月のえがお』ぜひ読んでください♪(なかしま)

編集後記を書いている本会職員の似顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。

平成25年8月9日、赤い羽根共同募金の配分金を受けて、福祉活動のための車両を購入いたしました。この車は、日中一時支援事業の送迎やボランティア活動等の地域福祉活動に有効活用させていただきます。ありがとうございます。



災害義援金募集

島根県共同募金会及び山口県共同募金会では、今回の大雨災害で被災された方を支援するために、災害義援金を募集しています。

下記にて義援金の受付及び募金箱を設置していますので、ぜひご協力をお願いします。

記

【募集期間】9月2日(月)～9月30日(月)まで

【受付】嘉麻市社会福祉協議会事務所
(岩崎1143-3)

【受付時間】土・日・祝日を除く
8時30分～17時まで

なお、直接送金することもできますので、その場合は、下記までご連絡ください。

嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751